

Title	弔辞
Sub Title	Words of condolence for emeritus professor Hirasawa Goro
Author	関場, 武 (Sekiba, Takeshi)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2001
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.36 (2001.) ,p.487- 488
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	平澤五郎名誉教授追悼記念
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20010000-0487

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

弔 辞

平澤さん、平澤五郎さん。私共一同は先生の突然の逝去の報に接し、驚愕、かつ深く悲しんでおります。昨秋お目にかかった時には、あんなにお元気でしたのに……諸行無常、長幼序ありとは言え、まことに残念でたまりません。七十という、まだまだこれからの節に、早すぎるという無念の思いが沸沸と込み上げて参ります。

平澤さんは、昭和三十六年三月に慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程国文学専攻を修了され、同四月から、前年の十二月に創設されたばかりの慶應義塾大学附属研究所斯道文庫の助手に就任、以来、定年を迎えられるまでの三十五年間を、一貫して国文学関係典籍類の書誌的研究と斯道文庫の運営に当って来られました。そのご研究は、いずれも斯道文庫がモットーとする古典籍類の悉皆調査、精密な書誌的調査に基づくもので、単なる書物の外面的記述、紹介ではなく、文献の内容を深く読み込んだ上での精緻な論考を次々と発表され、後進を益するところ多く、学界でも高く評価されているものであります。平澤さんは、はじめ、「堤中納言物語」や「秋乃夜長物語」、「唐鏡」等の研究をしておられました。同僚の松本隆信さんや阿部隆一、尾崎康さんらの専門領域との関係もあってか、勅撰和歌集や私家集等の研究に移って行かれました。私が、はじめて平澤さんの警咳に接したのは、「唐鏡」と取り組んでおられる頃だったでしょうか。まだ学部の四年生であった私を、平澤さんは何くれとなく心にかけて下さいました。曰く、学問研究のあり方、曰く身の処し方、様々な場で懇切な御指導をたまわりました。一介の学生アルバイトにしかすぎなかった私が、勤務時間以後も文庫に居残ってマイクロフィルム等を見ることを許して下さいたり、当時いらした山里石峰さんの指導を受けつつ、文献の撮影や写真の焼き付けを、文庫内の暗室で行うことを許して下さいたりと、

今思い返しても破格の厚遇でございました。後年、私も研究対象分野を変えることになるのですが、当時、室町時代物語や古浄瑠璃、説経節等に関心を持っておりました私にとって、どんなに有り難いことであつたでしょうか。……御陰様で……典籍類の書誌学的研究の手法・基礎そして心構えを、私なりに身につけさせて頂けたと思っております。本当にありがとうございました。

平澤さんは、また、自他ともに認める大変な酒豪でした。武勇伝、エピソードには事欠きませんが、こちらがお止めすればする程、「何だどーッ！ このへったくれが、小僧っ子のくせにガタガタ言うなッ！」てな調子で、大変なお酒でした。でも、実は、皆も判っていることでした。実は平澤さんが、非常なテレ屋で、気配りの人で、律儀な人であることを……。だから、同僚や先輩、後輩達が「五郎ちゃん」とか「五郎さん」と言つて慕っていたのです。

斯道文庫に於ける平澤五郎さんのご功績は言うまでもなく絶大であります。二期に亘りお勤めになつた文庫長時代は勿論、定年を迎えられた後も、文庫のことを色々と心配しておられました。現在、斯道文庫を取りまく環境は益々厳しいものがあります。斯道文庫は平澤さんをはじめとする生え抜きの方々の御努力によつて隆盛を迎え今日に至っております。しかし、前途には多くの困難が待ち受けていることも予測されます。

平澤さん、平澤五郎さん、どうかお好きなお酒を少し、くれぐれも少しだけお召し上がりながら、我ら一同を見守り、お導き下さい。長い間、本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成十三年二月二十七日

慶應義塾大学附属研究所

斯道文庫 文庫長 関場 武